

# コルテス 伊藤の我が音楽人生

## 第15回 猫とコルテス

先生方こんにちは。いかがお過ごしでしょうか？  
私はといえば、糖尿病はおかげさまで数値が下がり、尿糖試験紙の色が緑になることがなくなりました。コレステロールも標準範囲内で何とかのいでおります。

最近、テレビなどで犬猫の可愛い特集番組がかなりの頻度で放送されておりますね。うちにも一匹います。仕事先にも野良猫ちゃんなんです何が何匹かいて、ついついご飯をあげてしまうものですから、居座っております。最近は雀などにもご飯をあげてスタッフから白い目でみられています（笑）。

しかし、私達の茨城県は犬猫殺処分がかなりの数みられ、先日の新聞では3割減と皆さんのお力で少し良い方向に向かっていたのは嬉しい知らせでした。小さな命を守ってあげたいと、私も微力ですがお手伝いさせていただいております。自分の身も惜しんで保護猫、保護犬の面倒をみていただいている各団体や個人の方には敬服いたします。

私がなぜ、この話をしたかと申しますと、実は今のコルテスは私が野良猫を面倒みたくてあのビルを選んだからです。私はあのコルテスのビルに20年前から10年程住んでいたのです。そして、あの震災の前年に越しまして、他に移り住んでからも毎日仕事の帰りにご飯をあげに寄ってました。何匹かは死んだり行方不明にはなりましたが、コルテスを立ち上げた時には5匹ほどいたので近所の人や私の家族で協力して面倒を見ておりました。今は数

匹しかおりませんが、ミュージシャンやお客様の相手をしていただいております。決して猫喫茶ではありません（笑）。

猫をジャケットにしたレコードはかなり沢山の数が存在します。ミュージシャンも猫好きなかたが多く、ジャズとの因果関係は計り知れませんが、我



が道を行く気ままな猫の生き方がミュージシャンとの接点なのかも知れませんね。また、時には愛くるしい仕草や可愛い瞳で見つめられるのですからたまりませんよね。

動物を愛する方には悪人はいないと私は思っております。

私の好きな曲に、KING CRIMSONの「CATFOOD」という曲がありますが、訳せば猫餌。

TED NUGENTの「CAT SCRATCH FEVER」は猫ひっかき病。

JIMMY SMITHの「THE CAT」はずばり猫。

このように、猫をタイトルにした曲はかなりあります。皆さんの好きな猫曲は何ですか？ そう言えばジャズミュージシャンは別名でCATとも呼ばれておりましたね。

話は変わりますが、コルテスのライブは異種格闘技の様相を踏まえてきました。最近のライブは、FOLKSONG、HARDROCK、PROGRESSIVE JAZZ、バリバリの前衛JAZZ、洋楽POPS。私がプログラムするわけですが、自分自身節操がないと思います。しかし感動は音楽のジャンルは問いません。どうぞ、皆さんもぜひコルテスで体験してみてください。

ところで、最初の話から大分ずれてしまいました。先生方も猫や犬と生活を共にしてられる方が多くいらっしゃると思いますが、家族ですからね、どうぞ仲良く暮らしてください。

この時間は何物にも代えがたいですからね。最後に、猫の恩返しはあるのかな？と無粋な考えでしめくらせていただきます。

今回はトリビュートバンドあれこれを予定しております。

(ひたちなか市・伊藤歯科医院 伊藤輝彦)